

令和6年度 第2回仙台市景観総合審議会 議事録

日 時	令和6年11月25日（月）13:30～15:00
会 場	中小企業活性化センター セミナールーム（2）
出席委員	稲葉 雅子委員、梅田かおり委員、加藤 幸枝委員、小林 淑子委員、 佐々木和之委員、高山 秀樹委員、佃 悠 委員、恒松 良純委員、 内藤 良介委員、不破 正仁委員
仙台市	都市整備局長、瀧澤次長、二階堂次長、計画部長、総務課長、 青葉区街並み形成課、宮城野区街並み形成課、 若林区街並み形成課、泉区街並み形成課
事務局	都市整備局計画部都市景観課

【議事】

1. 開会
2. 各委員挨拶
3. 事務局紹介
4. 会長、副会長選出
5. 会長挨拶
6. 議事
 - ＜審議事項＞
 - ・屋外広告物部会について
 - ＜報告事項＞
 - ・「杜の都・仙台」のビューポイント募集！ビューポイントの現地確認状況について
7. 閉会

【議事録】

1. 開会

○司会（都市景観課 大友係長）
定刻となりましたので、始めさせていただきます。
ただいまより、令和6年度第2回仙台市景観総合審議会を開催いたします。
まず、本日の出席状況の報告をさせていただきます。本日は、佐々木慎太郎委員、山畑委員より欠席のご連絡をいただいております。
—配布資料確認—

2. 各委員挨拶

○司会
続きまして、委員挨拶に移らせていただきます。
本日の景観総合審議会は、新たに委員にご就任いただいて初めての開催となりますことから、委員の皆様からお一人一言ずつ挨拶を頂戴したいと思います。

—各委員からの挨拶—

3. 事務局紹介

○司会

—事務局紹介—

4. 会長、副会長選出

○司会

続きまして、当審議会の会長及び副会長の選出に移りたいと思います。

本市の景観条例では、会長、副会長は委員の互選で定めるとしております。委員の皆様から、会長、副会長につきまして、自薦あるいはご推薦をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○高山委員

会長には、これまで副会長を務めてこられましたことから、恒松先生がよろしいかと思えます。

また、副会長には、本日ご欠席されてはおりますが、長年、広告物部会のほうで専門委員を務められており、また、他都市でも景観に関する委員も務めておられる山畑委員をご推薦したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

○司会

ありがとうございます。ただいま高山委員より、会長に恒松委員、副会長に山畑委員を推薦するとのご提案がございました。ほかにございますか。

(他になし)

○司会

恒松委員、いかがでしょうか。

(恒松委員 了承)

○司会

山畑委員には、改めて事務局でご意向を確認させていただきます。

それでは、委員の皆様にお諮りしたいと思います。

会長を恒松委員に、副会長を、本人からご了承が得られれば、山畑委員にお願いするという案につきまして、ご異議はございますか。

(委員了承)

○司会

異議がございませんでした。それでは、恒松会長、よろしくお願いいたします。恒松会長は、会長席にご移動をお願いいたします。

5. 会長挨拶

○司会

それでは、会長、副会長を代表し、恒松会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

○恒松会長

改めまして、東北学院大学、恒松です。よろしくお願いいたします。

前期で副会長を務めたこともあり、前会長が退任されたということで、今期から議事進行を務めさせていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

前会長は、「景観はかくあるべき」と講義をされていたのですが、皆さんと議論をしながら進めていければと思います。特に景観は、皆さんの好みがあって、同じものが100点というわけではなく、それぞれの評価があると思うので、なかなか一つの方向に持っていくことは難しいと思いますが、今後の仙台の街並みが良い方向に向かうよう、皆さんのご意見をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○司会

恒松会長、ありがとうございました。

6. 議事

○司会

それでは、これより景観総合審議会の議事に入ります。

なお、終了時刻は15時を予定しております。

初めに、会議の成立についてですが、委員12名中10名の出席でございますので、景観法等の施行に関する規則第31条第2項の規定により、会議が成立しております。

ここからの進行につきましては、同規則第31条第1項の規定によりまして、恒松会長に議長をお願いいたします。

○恒松会長

議事に入る前に、議事録署名ですが、私と、委員名簿順ということで、今回は稲葉委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(稲葉委員 了承)

○恒松会長

ありがとうございます。

ここで、会議の公開、非公開についての確認をしたいと思います。本日及び今後の審議については、原則として公開とし、特定の個人を識別し得る情報を扱う場合などに関することがあれば必要に応じて非公開とするということでよろしいでしょうか。

(委員了承)

○恒松会長

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

<審議事項>

・屋外広告物部会について

○恒松会長

それでは、議事に入りたいと思います。本日は、審議事項が1点と報告事項が1点になります。

初めに、審議事項、「屋外広告物部会について」となります。

今回の改選により新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、事務局より改めて、屋外広告物部会の位置付けなどについて説明をお願いしたいと思います。

○事務局（都市景観課 大友係長）

—資料1により説明—

○恒松会長

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明で、ご質問などありましたらお願いします。

(委員 質問なし)

○恒松会長

よろしいですか。

次に、屋外広告物部会の委員及び部会長についてです。規則上、会長が指名することになっておりますが、事務局としての案があればお願いします。

○事務局（都市景観課 大友係長）

それでは、事務局案につきまして、資料を配付いたします。

—資料を配布し、委員案について説明—

○恒松会長

ありがとうございます。ただいまの事務局案で、部会の委員、部会長及び部会長の職務代理者の指名をしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(委員了承)

○恒松会長

ありがとうございます。不在の委員につきましては、事務局から改めて意向の確認をお願いします。

一言だけ補足すると、屋外広告物ガイドラインは前期までに仕上げる予定でしたが、いろいろご意見をいただき、まだ時間をかけて継続的に作業をしている最中で、ここで部会委員が変わると、見直す内容に影響が出ることも考え、前期で携わっていただいた皆様にご協力いただく旨、事務局から提案を受けた状況になっております。屋外広告物ガイドラインについては、別途、報告させていただければと思っております。

<報告事項>

・「杜の都・仙台」のビューポイント募集！ビューポイントの現地確認状況について

○恒松会長

では、続きまして、報告事項になります。「杜の都・仙台」のビューポイント募集！ビューポイントの現地確認状況についてとなります。

それでは、事務局より説明をお願いします。

○事務局（都市景観課 菅原主任）

—資料2により説明—

○恒松会長

それでは、今報告がありました、「杜の都・仙台」のビューポイント募集！ビューポイントの現地確認状況についてということで、ご意見、ご質問あればお願いしたいと思います。

○不破委員

まずは事務局の方、作業お疲れさまです。すばらしい作業量だと思って感動しております。さて、募集要件を満たすものについて、公表を予定しているというリストを今日示していただきましたが、改めて確認です。このビューポイントというのは市民に対してこのような所があるよ、という紹介をするものだとは私は認識しており、特に今回も募集要件を満たすかを確認しただけで、例えば市として認定をしたりとか、何か賞を与えたり、評価をするようなものには今のところなっていない、ということでしょうか。

○事務局（菅原主任）

認定や表彰するようなことは考えておりません。募集要件として、仙台市内にあること、一般の方の立ち入りが禁止されていないこと、安全な場所であることというところを満たす場合は、一律で公表したいと考えています。

○不破委員

今後公表する際に、今の要件をきちんと書いておくといいなと思います。また、評価をしたものでない、ということも明記したほうが良いのではないかと思います。

評価は、時代が変わると残念なものに変わりがねないという懸念があります。人の見方が少し変わると負の要素になりうる可能性もあると思います。例えば、最近でいうと5年ほど

前に、丸森町にあるソーラーパネルみたいなものが、仙台駅前の電光掲示板で、仙台・東北の美しい景観として評価されていたことがありました。けれども、最近ではメガソーラーに対する方向性が大きく転換していることもあるので、今あの広告を出しても誰も響かないと思うのです。

今ここに上げられている中にも気になる要素が幾つかあるので、公表されときの言葉選びというのは大事にしたほうがいいかなと思います。あくまでも仙台市が認定、評価したものではないというのを明記しておく必要があるのではないかと思います。

○恒松会長

事務局からいかがでしょうか。

○事務局（菅原主任）

募集要件を明記すること、並びに評価をしたものでないということをしっかり記載したほうがいいということですが、募集に当たって、この募集要件は、実施要領やチラシの中でもしっかり明記をしております。

仙台市が評価をしたものではない点を明記することについては、いただいたご意見、アドバイスを参考に検討したいと思います。

○恒松会長

ほかにはいかがでしょうか。

○内藤委員

ご説明ありがとうございます。先ほど完了時に公表予定と記載があるのは、デジタルマップというようにお話でございましたので、確認です。先ほど別紙1、2ということでリストと個票を見させていただきました。これは、デジタルマップにするときに、マップ上でクリックすると別紙2の写真が出るような感じになるものでしょうか。それともリストはリストで載って、別紙2の個票の部分は、また別途開くのでしょうか。別々だと分かりにくいのではないのでしょうか。

○事務局（菅原主任）

その公表方法については、検討中であるため、詳しくはこれからになりますが、相互にリンクできるように、なるべく見ていただいた方が見やすいようにしたいと考えています。

せんだいくらしのマップでは、デジタルマップ上で位置情報をマッピングし、そこをクリックすると写真や、ホームページのURLを掲載することができるので、相互にアクセスできるように考えていきたいと思っています。

○内藤委員

分かりました。ありがとうございます。

○恒松会長

ほかにかがでしょうか。

○佃委員

たくさん応募があつて、さらには大変なご苦勞の中、75 件の現地調査、お疲れさまでした。年度内の公表ということなので、できるだけ今年は雪が降らずに、雪の景色ばかりにならないといいなと思っております。

2 点ほどです。まず 1 点目、別紙 2 のタイトルで、例えば 1 ページ目の 001、「大橋から見る仙台城跡」と書いているのですが、改めて、このビューポイントが具体的にどのような所なのか、を書いたほうがいいかなと思いました。大橋なら、「広瀬川に架かる、仙台城と城下をつなぐ橋です」などの書き方のほうが、仙台になじみがない方に見ていただき、観光につなげたい、という点では親切なのかなと思います。あわせて、見える景色についても、仙台城跡というような説明をタイトルなどに入れていただくと親切かなと思います。

2 点目、ビューポイントのところなのですが、なかなか、見える景色とその見る場所という写真の見せ方、すごく面白いなと思って見ておりますが、人がいない写真だと、ビューポイントがどの辺を指しているのかが分かりにくいかなと思いました。可能であればイラストで人の絵や、簡単な線画などを入れると、どの辺から見たらいいか分かりやすくなるかと思いました。

○恒松会長

事務局いかがですか。

○事務局（菅原主任）

公表イメージとして、今は手を動かしながら考えている部分もあるため、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

○恒松会長

ほかにかがでしょうか。

○稲葉委員

多大なる調査、お疲れさまです。今、手元に配付いただいた資料 2 及び別紙 2 というのは調査済みのビューポイントなのだと思うのですが、見える景色というところの写真とビューポイントの写真というのは、仙台市職員が現地に行つて確認されて、撮影されているものという認識でよろしいですか。投稿された方から送られてきた写真なのでしょうか。

○事務局（菅原主任）

載せている写真は、現地確認して、仙台市職員で撮影した写真です。応募された写真は使用しておりません。

○稲葉委員

分かりました。これは、調査する時間帯などによるのだと思うのですが、このビューポイ

ントから見える景観が良いということが、光の加減とかで分かりにくいところもあると思います、行ってみて、ここで写真撮りたい、と思わせるような写真を掲載していただけると良いと思います。

あともう一つ、危ないところは要件に含まれないということなのですが、熊が出るとかイノシシが出るとか、危険情報についてはお書き添えいただいたほうが良いかと思いました。

○事務局（菅原主任）

写真に関しては、現時点では、調査時間が限られている中で件数をこなしているので、ご意見を参考に、公表用には良い写真が撮れるように努力したいと思います。

2点目にいただいた危険情報についてです。山のビューポイントの応募もありますので、風水害が発生する季節など、アクセス路が危ないかもしれないなど懸念もあります。タイムリーで更新するとなると難しいところが出てくるかもしれないので、公表にあたっては、ビューポイントに赴く方ご自身でも調べていただけるよう、注意喚起をしていきたいと考えています。

○恒松会長

よろしいでしょうか。

○小林委員

本当にたくさんの案件を調査され、お疲れさまです。

稲葉委員からもお話があったのですが、写真としては惣門も少し暗かったりするので、少し気を遣って撮影していただけると良いと思います。鉄塔のほうはすごくきれいなのですが、建物が少し暗いと、残念だなと思う方もいるかもしれません。写真に気を付けて掲載していただくと、よりいいものになるかなと思います。

それと、「職員が撮りました」など、職員の方が一生懸命やったということがわかると、市民としては、より親しみが湧くのかなと思いますので、付け加えていただければよいかと思っています。

それと、先ほど丸森のソーラーの話もありましたけれども、景色が変わるということもあるので、いつまでこれを継続するかとか、更新のことも、今後考えていただけるのかなと思いますが、現時点ではどのように考えているか教えていただきたいと思います。

○恒松会長

事務局、お願いします。

○事務局（菅原主任）

公表する情報の写真などの取りまとめについては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

更新に関しては、現時点で考えていることですが、応募いただいたものの中には、季節で写真が撮れていないものがあるので、年度末の公表に向けて作業を進めておりますが、公表後も写真の更新などは出てくると考えており、継続的な取り組みになると考えています。

また、宮沢橋での応募がありました。宮沢橋は現在、架け替え工事が行われており、今後変わっていく景観の一つだと考えております。そのようなところの取扱いなどについても、並行して考えてまいります。

○恒松会長

小林委員、よろしいですか。

○小林委員

ビューポイントをホームページにアップするという、この事業自体はどれぐらいのスパンを考えていらっしゃるのでしょうか。決まっていなければ、決まっていなくて構いません。

○事務局（菅原主任）

決まっておりません。

○小林委員

はい、分かりました。職員の方が一生懸命始めた事業なので、民間のほうに広がるとか、ますます活用されるようになればいいなと思っての意見でした。

○恒松会長

ほかいかがでしょうか。

○梅田委員

すごくたくさん場所を調査なさって、お疲れさまでした。

夕景であるとか、夜景であるとか、夜間に関するビューを推薦している応募が見受けられます。観光のためというものであれば、その時間軸を表現する、例えば夜景でお勧めには何か印がついているとか、昼間の景観がいいとか、あとは市内在住の方向けのビューポイントなのか、来訪者向けのビューポイントなのかわかるようにするとよいと思います。

また、デジタルマップというのは具体的にイメージできていないのですけれども、観光部門で既にデジタルマップを作っているのであれば、タイアップすると、作業量を削減できるのかなと思うので、色々な部署とタイアップしていただき、観光の人も使えるし、市民も使える楽しいマップになったらいいなと思いました。

あと、車を持っている人はいいのですけれども、車を持っていない人がそこに行くというのに、バスマップのようなものと一緒になっているとすごく便利かと思うので、そこへ行く交通手段も記載いただけるといいと思いました。

早いうちから、ほかの部署の方に、ビューポイントに関する取り組みを進めていることを伝えておけば、他の部署の方も手伝ってくれるかもしれないし、「うちの部署ではこういう写真を持っているよ」みたいな情報があるかもしれないので、市一丸となって進めていただけたらいいと感じました。

○恒松会長

事務局いかがでしょうか。

○事務局（菅原主任）

応募されたビューポイントの更なる活用に関しましては、観光サイトのせんだい旅日和や、仙台Ma a S^{※1}デジタルマップの所管部署とも調整しており、また、委員がおっしゃったとおり、見て終わりではなくて、訪れた人々が仙台ならではの魅力を味わって居心地よく過ごせることができる、または、滞在することができるような工夫についても、文化観光局などと連携して検討してまいりたいと考えています。

また、移動経路については、Ma a Sデジタルマップで、全てのビューポイントを載せることは難しいかもしれないのですが、観光やにぎわい創出への寄与が期待できる場所、公共交通の利用増進が期待できる場所などは、ビューポイントを掲載して、使っていくことを考えています。

Ma a Sデジタルマップで公開されると、移動経路が表示される、交通手段の予約決済もできるというような仕組みになっているので、現在、掲載に向け調整中です。

※1：「Mobility as a Service」の略称。目的地までのルートや移動手段、飲食店・スポット等の検索・予約・決済を、スマートフォンなどで一括して行える仕組みを意味する

○恒松会長

ほかはいかがでしょうか。

○高山委員

今の意見と関連していますが、このビューポイントは、要件を満たしたものは全て公開することなので、それはそれで進められてよいと思います。また、ビューポイントの有効活用という部分では、これから文化観光局さんとかと調整しながら進めるということですが、恐らく上がってきた229のビューポイント全てを活用するというわけにはいかないと思います。別紙の2を見ても、例えば観光として生かしていくに向いていないビューポイントもあるかと思いますので、そういったところは取捨選択されながら、仙台の魅力を別の切り口とかで発信していく、というような捉えでよろしいのでしょうか。

あと、この別紙2の「見える景色」というところ、職員が苦勞して写真を撮られたと思うのですけれども、応募いただいた写真と比較したときに、応募していただいた写真のほうが見栄えするケースとかというのもあるのでしょうか。そうであれば応募いただいた写真を活用するというのもありなのかなと感じた次第です。以上です。

○恒松会長

事務局、いかがでしょうか。

○事務局（菅原主任）

ビューポイントの有効活用は、まさに今、高山委員がおっしゃったようなことを考えております。まず、公表いたしますが、その後の更なる活用という点では、観光に資するものな

どについては、観光部局を中心に、関係課と調整をしながら、考えていきたいと思います。

次に別紙2の写真ですが、応募いただいたもののほうがよく写っているものの中にはあります。ただ、募集に際して事前公表しているのですが、写真コンテストではないので、高性能のカメラで撮ったものではなく、職員が自ら撮ってきたもので見ていただいたほうが、よりご自身で見たときに、等身大に近いと感じていただけるのではないかとということもあり、このような取りまとめ方をさせていただいています。

○恒松会長

よろしいですか。ほかにはいかがでしょうか。

○佐々木（和）委員

公表後の活用みたいなことは今後も議論をし、せっかく集めたものですので、有効に活用していただくように、今後もアイデアを出していければいいかなと思います。まず、一覧化できたというのがすごく価値があるなというふうに思っています。今回のプロセスにおいても、いろんなステークホルダーがいらっしゃると思うので、皆様にお知らせすることも重要なのではないかと思います。

例えば、弊社でやっているタウン誌などで飲食店特集をしたときに、せっかく飲食店に行ったのであれば、近くのビューポイントを訪れてもらうとか、逆にビューポイントに行ったときに飲食店へ行ってもらう、みたいなことをメディアとしても取り上げたいなとも思えます。この取り組みを私はここで知っているのをお伝えできますが、いろんな方にお伝えするような場を設けていただけるといいかな、と思いました。

○恒松会長

事務局いかがでしょうか。

○事務局（菅原主任）

公表に関する発信についても、取りまとめる作業と並行して考えていかなければならず、広報部門と連携しながら有効な発信方法を考えていきたいと思っています。様々な広報誌等でも取り扱っていただけるように、見せ方、発信の仕方を考えていきたいと思っています。

○恒松会長

ほかにはいかがでしょうか。

○加藤委員

先ほどから出ている写真の話ですけれども、ご意図は十分理解しました。その上で、多少のレタッチで全体の調子を整えていくという作業をされると、まとまりも出ますし、意図もより明確に伝わると思います。恐らく庁内に写真に詳しい方もいらっしゃると思うので、どういうふうにすればトーンが揃うかご検討されるといいかなと思いました。

○恒松会長

事務局いかがですか。

○事務局（菅原主任）

レタッチなどできることに関しては、やってみたいと思っています。

○恒松会長

できる範囲で取り組んでください。ほかにいかがですか。

○不破委員

皆さんからいろいろな意見が出ていますので、重複になることでもあるのですが、ビューポイント観光に利用することはもっともな意見だと思います。そのときに、これを見た人たちがどう受け取るかというのが大事なことだと思います。仙台にはいろんな人がいると思いますが、僕は特に3種類いるのではないかと考えています。

まず、観光客、もう一つは仙台市民の中でも、長く住んでおり、仙台市のことをよく知っている方、最後に、仙台市民の中でも、最近住み始めて、仙台市のことをまだあまり知らないけどこれから知りたいと思っている方と大きく三つじゃないかと考えています。

例えば、観光客が実際にビューポイントに行ってみたけれども、何も良さが伝わらないパターンがある一方で、長く住んでおり、仙台市のことをよく知っている方から見ると、これは、仙台市民の心の景色だね、と感じられる景色がこの中に紛れているのではないかと考えるのです。そのあたりのことが、ボタンやマークみたいなもので、印されるとおもしろいのではないかなと思います。例えば、3段階ぐらいのヒエラルキーで、ボタンをつけてもいいのかなということを思いました。可能ならご検討ください。

○事務局（菅原主任）

情報の見せ方についても観光部門などとしてしっかり連携をして、効果的な方法について考えていきたいと思っています。

○恒松会長

ほかにいかがでしょうか。

○稲葉委員

2点あります。1点目は、今の不破委員のお話に少し関係があることなのですが、私どもの会社では、まちなか観光、まち歩き観光というものをやっているのですが、明らかに仙台市民の方が参加するまちなか観光と、仙台市民は参加をあんまりしないという観光ルートには違いがあります。

私たちからすると、さっき不破委員がおっしゃっていた、八木山の上の標準点みたいなのところとか、南光台とか、これは観光客行かないだろうなというルートを考える人たちもいて、参加するのも仙台市民なのですね。逆に、仙台の三大名物を食べ歩こうとか、そういうものはやはり観光客の方のほうが多くて、今の不破委員のお話にありました三つの分け方というのはすごく分かりやすいかなと思いました。

2点目は質問ですが、各シートにある「見える景色」の一言メモは、これは投稿された方の文章をそのまま入れているのでしょうか、それとも役所の方が撮影された上で、投稿された方の文章をリライトしていらっしゃるのでしょうか。

○事務局（菅原主任）

各シートにある「見える景色」の一言メモは、職員が書いているもので、応募された方からの文章ではありません。応募された方がお薦め文を書いている方もいるのですが、書かれていない方も大半なので、文章は現地に行って感じたことや、取りまとめるに当たって、その情報の正確性を調べるために確認したことなどから取りまとめたりするなどして記載しています。

○恒松会長

ほかにいかがでしょうか。

○内藤委員

様々、皆さんの質問を聞かせていただきながら、不破委員が先ほど、これをどう生かしていくのか、というようなお話があった中でございます。これは、都市整備局ではなく、文化観光局で行うべきことだと思うのですが、仙台市でもデジタルマップを使った様々な事業が進められている中で、今回のこの取り組みは非常に素晴らしいと思います。やはり自分たち市民が、ここにぜひ観光客の方をお連れしたいよね、と思ってもらえるビューポイントというのが、やはりいいのかなと思います。

その中で、ビューポイントを見に行った人の感想が、やはりブラッシュアップにつながると思いますので、ビューポイントをデジタルマップに掲載して見てもらって、はい、終わりではなく、どういうふうに生かしていくのか、これは文化観光局の業務にもなるかもしれませんが、どのように考えているのでしょうか。

○事務局（菅原主任）

訪れた方の感想を吸い上げる方法ということでよろしいでしょうか。

○内藤委員

そうです。

○事務局（菅原主任）

現時点では、公表に向けての作業に労力を費やしており、公表後のビューポイントの改善に関してはこれから考えていかなければならないと思っています。

ただ、一方で、観光サイトやMa a Sデジタルマップでのビューポイント情報の活用を考えているので、いただいたご意見を踏まえて関係部署とも、ビューポイントを見に行った人の感想の吸い上げ方など、できることがないか検討したいと思います。

○内藤委員

ぜひよろしくお願いします。なぜそのような話をしたかというところを少し触れたほうがいいかなと思い、お伝えしますが、先ほども他の委員からも話があり、アクセス情報などいろいろ記載いただくことと思います。その中で、車で行っても車が停められないビューポイントも含まれているので、行っていただいた方じゃないと感じてもらえない、いわゆる不便情報もあると思いますので、ぜひ行った方のご意見をいただけるといいな、というふうに思い、お伝えをしました。

○恒松会長

事務局いかがでしょうか。

○事務局（菅原主任）

事務局でも現地確認を行っているのですが、訪れた方が感じたことなど、ビューポイントの改善につながる情報はあるかと思っておりますので、今後、関係課ともいただいたご意見を共有しながら進めてまいりたいと思います。

○恒松会長

高山委員お願いします。

○高山委員

公表の仕方で色々のご意見が出ていますが、ただ、このビューポイントを都市整備局としてまとめられる際は、募集時に定めた実施要項がありますので、それに沿った形で応募されていれば、事務局側で、観光に資する等、下手に分類をしてしまうと応募した方の思いとのすれ違いが生じてしまうかもしれません。都市整備局として、ビューポイントを公表するに当たっては、変に色々なことを盛り込み過ぎないほうがいいのかなというふうに思いました。

一方で、これから観光課など他の部局と連携してこれを活用していく際に、仙台M a a S に落とし込むなどの活用がされれば良く、やはり要項にないことを書き加えたりすると趣旨から外れてしまうのではないかと思います。

また、当初、この事業ではビューポイント整備を行いたいという目的があったと思うので、その目的を明確にしながら公表に向けて作業していったほうがいいのではないかと感じました。

○恒松会長

事務局いかがでしょうか。

○事務局（都市景観課 阿部参事兼都市景観課長）

ありがとうございます。新しい委員の方もおりますので、繰り返しになりますが、ビューポイントの募集の際は、見る対象と、それからそれを見る視点となる場所の考慮も良好な景観の形成につながるのではないかとという景観総合審議会からのご意見もいただきまして、先ほどから出ていますが、写真の技術は問わずに、市民の方、あるいは来訪者の方が

魅力を感じているところを募集し、さらには応募いただいたビューポイントを広く情報発信するものです。募集にあたっては、地域にとっておきの景観をお待ちしておりますとも言っており、地元の人が愛着とか誇りを持っている隠れたところもまた発見して、発信してみようと考えておりまして、そういった仙台市の良好な景観への興味と関心の向上につなげる、まずきっかけにしたいと思っております。その後の施策で、今度は観光で何か周遊コースができるのでないか、とか、双方アクセスができたりするのではないかというのを、次の段階で、都市整備局を越えて、ほかの関係部局と協力して、もっと発展をさせていただき、また、佐々木委員がおっしゃいましたように、いろんなメディア等にも取り上げられて、地元の人が愛着とか誇りあるところが対外的にも認められ、「いいね」と褒められるような仕組み、それから内藤委員がおっしゃいましたように、そこに行ってみたらこうだったねという感想みたいなものを、「いいね」だけではなくて、不具合ポイントではないですが、こうあると、更に良かったという点が加わるように考えております。

○恒松会長

ありがとうございました。ほかに何か、話の中で気づいたこととかがあれば。よろしいでしょうか。

次の目標として、どのあたりの情報まで出せばいいな、など、ビジョンはありますか。デジタルマップに貼り込んだ状態を少しでも提示できる、そういうところまで頑張る感じでしょうか。それとも、まずは調査を、と考えていけばいいですか。

○事務局（菅原主任）

資料2をご覧ください。まず、今後の予定として、年度内で現地確認の完了報告を行いたく、併せて公表については、リスト、個票、くらしのマップの3点でできるように組みたいと思っています。

○恒松会長

まずはその現地確認、これがすごく大変だと思いますけれども、進めていただければと思います。

ほか、皆さんから何かございますか。

○不破委員

事務局の方の作業が、どれぐらい大変か知りたいですね。我々委員は、提示された資料を見ると、いろいろ言いたくなり、より良くしたいと思うのですが、それがどれぐらいの作業量になってしまうのか、対応できるものなのか、もしくはこれは無理ですと言っていたいちゃったほうがいいものなのか、または、こういうことはできそうですなどと、どこかのタイミングで私たちが知れると、何となく押し量れるかなと思いました。

○恒松会長

聞くと、言いにくくなるかもしれないです。

○不破委員

ああ、逆に。失礼しました。

○恒松会長

事務局から何かありますか。言っておきたいことありますか。大丈夫ですか。

○事務局（菅原主任）

お気遣いありがとうございます。なるべく皆様からいただいたご意見を組み入れながら取りまとめたいなと思っておりますが、作業量が確かに膨大であり、これから降雪期にも入りますので、安全にも留意しながら、まずは現地確認をしっかりと完了できるように取り組んでいきたいと思っています。

年度末、もう一度、景観総合審議会の開催を予定しているので、そこに向けて、229件のビューポイントの報告ができるように努めてまいりたいと思っていますので、引き続きよろしく願いいたします。

○恒松会長

ありがとうございます。もしかしたら、次回報告いただくときに、募集要項をつけていただいたほうが分かりやすいかもしれないですね。

○事務局（菅原主任）

分かりました。

○恒松会長

最後に、何かご意見とかあれば。特にございませんか。

もしご意見なければ、本日の審議は、これで終了ですので、進行を事務局にお返ししたいと思います。

○司会

ありがとうございました。

7. 閉会